

東近江市内3校合同防災研修 「避難所運営ゲーム HUG」に参加

八日市地区まちづくり協議会の防災プロジェクトは、7月29日（水）にアピアホールで開催された「2026年度高校魅力化チャレンジ事業 八日市高等学校リーダー育成プロジェクト」の研修会に参加いたしました。

「東近江市内3校生徒会執行部合同防災研修」が行われ、この研修には、八日市南高等学校から7名、能登川高等学校から12名、そして八日市高等学校から35名の、計54名もの生徒会執行部員ら若きリーダーたちが集結しました。私たち八日市防災プロジェクトチームからも6名が参加し、「避難所運営ゲーム HUG」の合同研修に臨みました。HUGは、避難所（H）運営（U）ゲーム（G）の略で避難所で起きるさまざまな問題をカードで模倣し、避難所の運営や対応力をゲーム感覚で学びます。年齢、性別、家族の有無などが書かれたカードが次々と配られるので、即座に避難場所へ振り分けるゲームです。

研修では、日本赤十字社滋賀県の中村準一氏をはじめとする9名の指導員の方々が参加し、建部地区まちづくり協議会、滋賀県知事公室防災危機管理局防災対策室1名、東近江市より防災危機管理課1名、社会福祉政策課1名など、企業・地域・県のような立場の方々約30名も加わり、総勢93名となりました。

「避難所運営ゲーム HUG」を通じたグループワークでは、次世代のリーダーとなる高校生たちとともに避難所で起こりうる様々な課題への対応を考えました。専門家から防災を通じた地域貢献について実践的に学ぶとともに、企業や地域、県、そして近隣高校との世代を超えた活発な交流を行うことができました。若者たちの真剣な眼差しや柔軟な考えに触

れ、地域防災の未来に大きな希望を感じる大変有意義な時間となりました。

7月28日16時30分頃に発生した最大震度7の熊本地震で、避難所運営についての重要性を認識して緊張感のある研修となりました。

参加者の感想

- ・初めての参加でしたが、大変緊張感があり楽しい研修でした。
- ・リアルな災害想定で焦燥感を感じた。
- ・災害時は、自分の身を守ることを最優先に考え、日頃より気を引き締めて臨みたい。
- ・自分のことの様に考えることが出来た。
- ・防災意識を高めることが出来た。
- ・正しい知識を持つことの大切さを実感した。
- ・HUG研修を経験出来てよかった。
- ・研修を経験することが大切と実感した。研修は慌てるだけとなり、これで良いのかと疑問に思った。
- ・2回目はもっと早く対応できると思う。
- ・素早く、全体的に把握しながら判断する必要があるので疲れた。

松村 栄士



参加した防災プロジェクトのメンバー



ワークショップの様子



研修会の様子

お知らせ

防災プロジェクト「第1回HUG(避難所運営ゲーム)研修」
日時：令和8年9月6日（日）午後2時から
（午後1時30分受付）
場所：八日市コミュニティセンター ホール
内容：HUG(避難所運営ゲーム)による避難所運営模擬体験を行います。

の由来と共に、猛暑を乗り越えるのは、川村 信蔵

今号が発行される頃には、立秋の候・残暑厳しき折等の言葉が目に入るように思われます。ここ数年の猛暑で、昔ながらの季節で季節を感じるのも、むつかしくなってきましたね。

さて、時期は少々はずれますが、暑いとき、きいた土用の類（たぐい）の中でも、おはぎやたい焼きなどの甘いものを、汗を流しながらいただくのが好きな私にとっては、季節到来と喜びます。体には良い効果をもたらしてくれるようですが、夏太りには注意が必要ですね。

八日市には昔、天輪焼きと呼ばれる和菓子がありまして、本町通りの中ほどで販売されていた。奈良県や三重県が発祥のようですが、天理（地名）と丸い形から輪を合わせて「天輪焼き」となったようです。

同じ形でも、地域によって名称も色々で、関西・中国・九州等では「回転焼き」、関東等では「今川焼き」、北海道・青森では「おやき」、東北・中部・四国・山陰では「大判焼き」、広島では「二重焼き」等ですね。

機械好きの私にとっては、熱くなった鉄板が動きながら、ひっくり返る様子に興味がかれました。姫路の「御座候（ござさうろ）」や、長浜の「暫（しばらく）」は、職人さんが手加減で焼かれていて、皮が薄くて餡子パンパンですが、「しばらく」の間、読み方が分かりませんでした。

暑い時期ですから、小豆の繊維質とポリフェノールで整腸作用と疲労回復に期待しながら、「ありがたく、いただき御座候」の由来と共に、猛暑を乗り越えるのは、川村 信蔵

片言隻句

へんげんせつく



みんなてつくろう！ようかいのまち

八日市まち協だより

八日市 コミセン HP



第80号

令和8年8月発行



編集
発行

八日市地区まちづくり協議会 八日市コミュニティセンタ 内
IP電話 050-8034-1141 電話・FAX 23-4120
E-mail 8comi920@e-omi.ne.jp



よみがえる 清水町民の憩いの場 清水川

清水町にとっての清水川

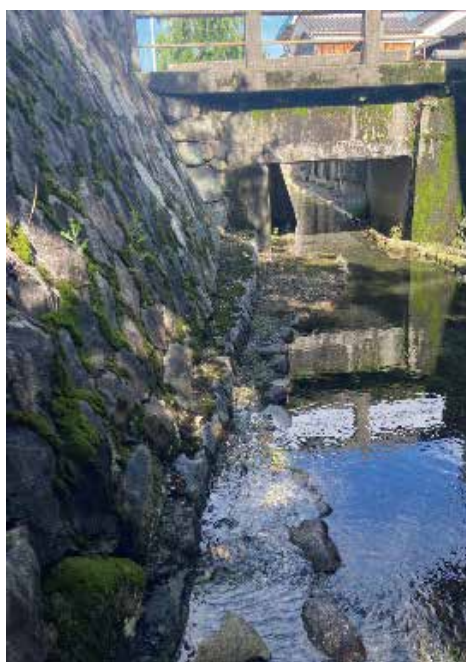
清水川は、自治会管理の公共物であり、中心市街地活性化事業のひとつでもあります。久しく湧水がありませんでしたが、今年7月2日に水量豊富な湧水が見られました。

東近江市による中心市街地活性化工事で、昨年10月着工して年度末3月に完成していただきました延命橋（延命湯前）から上流の区間が綺麗になり、春には桜、初夏には清らかな湧水、秋は紅葉、冬には雪化粧し、四季折々の表情を見せてくれると楽しみにしています。

自治会としても、街中のオアシスとして市民の皆様に喜んでいただけるよう、維持管理に今後も努めて参りたいと思います。



改修後の清水川



滾々（こんこん）と出る湧き水



楽しく遊ぶ子どもたち

清水川の歴史と今後

弘法大師伝説が伝わるふるさとの川、清水川は、その昔小脇郷の田園を潤おす灌漑用水として掘られ、その名の通り限りなく清んだ湧水に恵まれていました。水源である清水町では、生活に密着した川で、天然の冷蔵庫であり、野菜などの洗い場であり、語らいの場でした。子ども達にとって冷たい湧水は、夏のほてった体を冷やす最適の遊び場であり冒険の場でした。

しかし、近年は、地下水位が低下して以前のように水が湧かなくなり、水のない寂しい川となっていました。清水町では、歴史のある清水川をもう一度蘇らせる活動が始まりました。私たちは、先人が人力で掘削し、郷土の資産として残してくれた歴史ある清水川の景観や環境を守り、憩いの場として心に刻み、後世に伝えていく活動をこれからも続けて参ります。

和辻 隆



なかじま あきと 中嶋 彬人さん

八日市地区にある市神神社、皇美麻神社、松尾神社で長年にわたり宮司を務めてこられた中嶋玉城さんが、本年3月に亡くなられました。そのあとを引き継いで、新たに中嶋彬人さんが就任されました。彬人新宮司は昭和58年生まれの43歳と若く、玉城前宮司の甥に当たる方です。そのために今までも祭礼などの際に、玉城前宮司を手伝ってこられていて馴染み深い方です。八日市地区のみならず、他の八日市支部、蒲生支部、神崎支部の多くの神社の宮司を玉城前宮司に引き続き兼任されています。

中嶋彬人新宮司の今後のご活躍を期待しています。



新宮司の中嶋彬人さん



松尾神社



皇美麻神社



市神神社



市神神社

キラリ・この人



中島前宮司（右）と固い握手

ごあいさつ さわだ ともや 澤田 知哉さん

令和8年5月1日、野々宮神社宮司に就任しました、金屋二丁目の澤田知哉と申します。

例祭（春のお祭り）やお正月の元旦祭はもちろん、毎月の月次祭（つきなみさい）をはじめ、多くの神事や行事を通して、地域の方々と共にご奉仕していきたいと強く思っております。当社は、大願成就のお宮で、元旦に獅子舞がくる神社としても有名なお宮です。歴史も古く、延暦2年（西暦783年）に、野野子庄十三ヶ村の総社として、坂本日吉神社第六殿所祭のご祭神三柱、聖徳太子御自彫の子安延命地藏尊を併祀したと言われております。

歴史や伝統を尊重し、今日までつないでくださった神社やお祭り、伝統を時代の変化に合わせながらも未来に継承していきたいと考えています。

私自身、地域の方々のご協力のおかげで日々のお祭りや行事を行っております。野々宮神社を通して、氏子地域の方々や崇敬者の方々、そしてすべての人々を心温かく見守ることのできる宮司になれるよう、精一杯ご奉仕させていただく所存です。

神社はみなさま方によって支えられています。一方で神社が地域のみなさま方とのご縁を結び、深みのあるつながりを築くことができるように取り組んでいこうと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。